

「奄美群島日本復帰と中村小学校との交流」 校長 上村 英樹

奄美の梅雨も明けました。いよいよ夏本番です。これからじりじりと照りつける太陽の日差しがまぶしい日が続きます。

この時期になるといつも思い出すのは、沖縄慰霊の日です。昭和20年6月23日、日本軍の組織的な防衛戦闘が終結した日とされています。私もこれまで、幾度となく沖縄を訪れ必ず平和の礎がある糸満市の摩文仁に行き、平和への思いを新たにします。当時、沖縄に米軍が上陸した情報はここ奄美にも伝わり、いつ奄美にも上陸されるのではないかと、生きた心地はしなかったことを祖母からの話を幼心によく覚えています。ウクライナでの戦争はじめ、世界中で多くの戦争や内紛が起り、多くの犠牲者や難民の姿を見るたび胸が痛みます。一刻も早く平和な世界になることを祈る次第です。

さて、今年には奄美群島日本復帰70周年となる記念する年です。昭和20年の終戦を迎え、戦後復興が叫ばれる中、奄美群島は昭和28年に日本に返還されるまで、幾多の困難を抱えました。本校の校庭は奄美群島日本復帰運動の舞台になり泉芳朗氏を先頭に、奄美群島民の思いが結集した場所であり、昭和28年12月25日に奄美群島民悲願の日本復帰が果たされ、歓喜に沸いた場所でもあります。この日を迎えるにあたり、いち早くお祝いに駆け付けてくれたのが、練馬区立中村小学校の児童2名と引率の先生、雑誌記者の4名でした。東京を出て汽車と船を乗り継ぎながら東京を出発して4日目に奄美に到着され、1週間の奄美滞在となりました。12月5日に使節団は名瀬小、奄美小、名瀬中を訪問し、その日の午後には3校の児童生徒と使節団との座談会を実施しました。その後、名瀬小の石段で記念撮影を行っています。実はこの集合写真がきっかけで、この日から40年ほどたった頃、中村小学校の当時の少年2名と本校の卒業生である島岡稔さんが再会を果たすこととなります。これをスタートして、中村小と名瀬小の相互訪問が行われ、奄美群島日本復帰50周

年、60周年には中村小の使節団が来島し、本校の児童と交流を行っています。そして今年7月27日～29日までの3日間、これまでと同様に中村小学校から少年少女使節団が訪れ、本校児童と交流を行います。本校からは5、6年の男女16名がこの3日間中村小少年少女使節団と交流をしながら過ごします。

奄美群島日本復帰をきっかけに、また40年越しの友情が築いた両校の交流をこれからも大切に次の世代に繋げるために、今回の交流会を充実させてまいりたいと思います。

災害時引渡訓練 6/10



雨の中、児童の安全確保のため、訓練への参加・御協力ありがとうございました。

PTA学年対抗バレーボール大会 6/10



コロナ禍では、中止になっていたPTA学年対抗バレーボール大会を実施しました。練習や試合を通して、お互いの名前や顔を覚えるいい機会となりました。優勝は4学年



行事予定

- 7月5日(水)水泳発表会・学級PTA1・6年
- 6日(水)水泳発表会・学級PTA3・5年
- 7日(金)水泳発表会・学級PTA2・4年
- 8日(土)土曜授業
- 16日(日)市民総ぐるみ清掃活動
- 20日(木)1学期終業式
- 24日(月)親子理科教室(植物・昆虫・貝)
- 25～28日保護者対象の教育相談
- 28日(金)中村小学校との交流会

